

『生命のがん教育講演』

7月10日(金)に北部医療センター外科医 堅田様とがん教育推進メッセンジャー 渡邊様による「生命のがん教育」講演を1年生対象に実施しました。

講演では、がんについての正しい知識や予防のために健康的な生活習慣を送ること、定期的に健康診断を受けることの大切さについてなど話をいただきました。

○生徒の感想

- ・2人に1人ががんになる可能性があることが分かった。健康的な生活習慣でがんを予防したいと思った。
- ・がんになったらもう治らないと思っていたが、しっかり治療をしたら治る可能性があるのだと分かった。実体験の話をもとにして、自分がどのように対策すれば良いか分かった。
- ・どれだけ健康に気を付けていてもがんを100%防ぐことはできない。だからこそ、早期発見が大切。
- ・一人で抱え込んだり、悩んだりせず、周りの人たちに頼ったり相談するのは自分自身の安心や治療の向上に繋がるから大事だと思った。
- ・相手が安心できるような「大丈夫だよ」とか優しい言葉をかけてあげようと思った。
- ・もし大切な人がいたら、「HPV ワクチンを一緒に打ちに行こう」と誘えたらいいなと思った。
- ・がんはきっと誰でもなってしまうのだろうなって思っていたが、想像よりもなる可能性が多くて、少し怖いと思った。でも、例えがんになっても早期発見で完治する可能性があるなら、早め早めに病院に行くべきだと思った。

